

令和4年度老人保健健康増進等事業

介護ソフトの機能分類と導入ポイントに関する調査研究

株式会社三菱総合研究所

介護ソフトについては、仕様や機能、他の介護ソフトとの連携可否などの形態がソフトにより大きく異なっており、導入しようとする介護事業者が選択に迷ってしまう状況にある。

本事業では、介護ソフトの機能に着目し、介護ソフトメーカーや介護事業所等への調査を実施することにより市販の介護ソフトの機能について、過年度に行った調査研究等も踏まえ分類し、選択・導入のポイントを整理するとともに、介護ソフトを導入しようとする介護事業者が活用できる資料を作成することを目的とした。

1. 検討委員会の設置・開催

学識者・有識者及び関係団体等から構成する会議体を設置し、介護ソフトの機能実装・活用状況や導入ポイント集等に関する検討を行った。

2. アンケート調査

介護ソフトの機能の詳細、およびデータ連携をするICT機器・介護ロボット等との連携状況等について把握することを目的に、介護ソフトメーカー計130社を対象として、アンケート調査を実施した。調査はインターネット上で実施した。

3. ヒアリング調査

介護ソフトとICT機器を連携している等の介護ソフト活用の好事例について把握することを目的に、介護ソフトメーカー等から推薦いただいた、先進的な機能を活用している事業所12箇所を対象としてヒアリング調査を実施した。また、介護ソフトの活用に課題を感じている事業所1箇所についてもヒアリングを行った。

4. 介護ソフトを選定・導入する際のポイント集の作成

上記の調査結果や検討委員会での議論をもとに、「介護ソフトを選定・導入する際のポイント集」を作成した。

本調査より、介護ソフトの機能やデータ連携の実装状況、介護事業所の介護ソフト活用に関する好事例や課題等を把握することが出来た。また把握した事例や課題等をもとに、導入ポイント集を作成した。今後は導入ポイント集について、更なる介護ソフトの進歩と足並みを揃えて介護現場に最新動向を提供するための見直しや充実化等も必要と考えられる。